



MFJ SUPERBIKE
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2006 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP Rd.3
SUPERBIKE RACE in TSUKUBA



文部科学大臣杯 2006年 MFJ 全日本ロードレース選手権 第3戦 スーパーバイクレース in 筑波

EX-PRESS

EXtra, EXpert and EXtreme

2006 Vol.

3



Photo by H.Wakita(c)

伊藤真一がセッション終了間際の大逆転で ポールポジションを獲得! 連勝なるか!?

JSBクラスは開幕戦のあと、4輪のフォーミュラニッポンと併催で行なわれた鈴鹿2&4が開催された。このレースはJSBクラスだけが開催されたため、JSBはこの筑波が3戦目となる。

開幕戦のツインリンクもてぎでは、レース途中で雨が降ったためレースは2ヒート制となり、柳川明(チームグリーン)がうまいレース運びで優勝。ポールポジションからスタートし、チームメイトの秋吉耕佑(ヨシムラスズキwithJOMO)と共に1-2走行をしていた渡辺篤(ヨシムラスズキwithJOMO)は3位に入賞した。続く鈴鹿2&4では、秋吉がポールポジションを獲得するも、レースはディフェンディングチャンピオン、伊藤真一(KEIHIN KoharaRT)が意地を見せて優勝、2年連続タイトルへ向けて一足遅れたスタートを切った。このレースで渡辺篤は2位に入り、暫定ランキングトップに立っている。

不安定な天候が続くゴールデンウィーク明け、案の定、予選が開催された土曜日はあいにくの雨

模様。強い降りではないが、一日中小雨が降り続いていた。開幕戦から2戦、優勝こそないものの、絶好調のヨシムラスズキwithJOMOの二人が、その雨の筑波でも抜きん出た。午前中の予選1回目。A組、B組に分かれて戦うことになったヨシムラスズキwithJOMOの秋吉耕佑、渡辺篤がそれぞれの組のトップに立った。しかし、午後からの予選に備えてのセットアップという意味合いが強く、ヨシムラの二人に限らず、午前中のセッションは様子見といった走行だった。

予想通り、午後のセッションの方が雨の量が少なく、A組、B組共に、各車、タイムを詰め始めた。まずA組では、渡辺が最初からペースを上げ、午前中の自己タイムをコンマ5秒詰める1分1秒413という、ウェット路面では驚異的ともいえるタイムをマークした。A組の2番手は中須賀克行(YSP&PRESTレーシング)、3番手に柳川が入った。ここまで3人が1分1秒台。B組は、午前中、ただ一人1分1秒台をマークしていた秋吉が渡辺の

タイムに迫る1分1秒台中盤をマークし、組トップに立つ。続くのは山口辰也(ホンダドリームカストロールRT)とチームメイトの徳留和樹(ホンダドリーム無限RT)の二人。共に1分1秒台後半。残り10分を切ったところからタイムアタックが激しくなる。まずは秋吉が1分1秒118をマーク、全体のトップに立った。最終コーナーから大きく振れながらのアグレッシブな走りだった。しかしその直後、伊藤真一が1分1秒091を叩き出し、秋吉を抜いた。この瞬間、伊藤真一のポールポジションが決定した。2番手は秋吉、渡辺、徳留と続き、ここまですべて1分1秒台。2列目は山口、中須賀、柳川、そして辻村猛(F.C.C.TSR)が並び、4メーカーのバイクが並び、白熱した予選結果となった。

天気予報が数時間ごとに変わる。今日の決勝は、この不順な天候が、レース結果に大きく影響しそうな気配だ。

【青木 淳】



MFJ SUPERBIKE
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

楽しみ方いろいろ。
MFJ SUPERBIKEの情報満載

2006年もGAORA(CS放送)で全戦放映!!
地上波ローカルTV局ではダイジェストを放映!
レース速報はMFJオンラインマガジン mfj.or.jp
情報満載のファンサイト superbike.jp へ!!

TIME TABLE Rd.3 TSUKUBA

09:55 -	GP-MONO 決勝レース 15Laps
10:35 -	GP125 スタート進行(選手紹介)
10:50 -	GP125 決勝レース 30Laps
11:45 -	ST600 スタート進行(選手紹介)
12:00 -	ST600 決勝レース 30Laps
13:00 - 13:35	パドックウォーク
13:45 -	GP250 スタート進行(選手紹介)
14:00 -	GP250 決勝レース 30Laps
14:55 -	JSB1000 スタート進行(選手紹介)
15:10 -	JSB1000 決勝レース 30Laps

※上記タイムテーブルは、変更されることがあります。

渡辺篤がウエットの タイムアタック合戦を制す！



今回も今年からダブルエントリーしている渡辺篤がキレのある走りを見せ、ウエットコンディションで繰り広げられたタイムアタック合戦を制した。

「午前中のセッションで出したタイムでも、かなりいっぱいだったのに、A組で奥野さんが、すごいタイムを出していたのでビックリしていた。実際に走って見たら(奥野のタイムは)は、出ないタイムではないと思ったけど2秒台に入れたときは、かなりリスクがあった」と渡辺。

B組のタイムアタックとなった渡辺は、只一人、1分02秒台をマークしてポールポジションを獲得。奥野正雄は2番手グリッドからスタートする。

チャンピオンの安田毅史は、着実にセッティングを詰めて3番手につけた。

「ウエットでいいセッティングが見つかったので今後には生かせると思う。決勝はドライでもウエットでも、どちらでもいいけれど、筑波なのでスタートをうまく決めて、それからレース展開を考えたいですね。やっぱり(渡辺)篤さんが一番気になりますね」と安田。

一方、開幕戦のウイナー酒井大作は11番手、昨年のウイナー辻村猛が20番手、宮崎敦は34番手と明暗を分ける予選結果となってしまった。

決勝は天気が回復しドライコンディションになる可能性が高い。スズキ、ヤマハのニューマシンが速さを見せているだけに、渡辺、奥野がレースを引っ張るか？ ホンダの安田、カワサキの酒井が、どう迎え撃つか？ 4メーカー入り乱れたトップ争いが繰り広げられるかもしれない。

また、1987年から3年連続全日本GP500チャンピオンとなった藤原義彦にも注目だ。筑波は得意としていたコース。筑波に入る直前までMotoGPマシンのテストを行っており乗り換えに苦労していたが、そこはベテラン。今回も熱い走りを見せてくれるはず。S字コーナーで見せる逆ハンを、その目に焼き付けて欲しい。

[佐藤 寿宏]

写真(上):渡辺篤 (下):奥野正雄

横江竜司が順当にポールポジションを獲得 しかし、ここは筑波。独走は難しい



GP250は、ここ筑波で2戦目を迎えた。ツインリンクもてぎで行われた開幕戦ではゼッケン2をつける横江竜司がぶっちぎりの独走で格の違ひを見せつけ、あまりの強さを見せつけた横江に対し、早くも横江にはチャンピオン街道まっしぐらという呼び声が高まった。

しかし、世界への進出を目指してGP250を選択してきた若手ライダーたちにとっては、このままシーズンを終わらせてしまうわけにはいかな

い。ライバルたちは横江の独走を止めようと、虎視眈々と狙っている。開幕戦で横江を逃がし、2位に破れた高橋巧はその筆頭だが「横江さんが速いけど、今度は横江さんの後ろが見える所でレースがしたいです。今回は雨になるかもしれませんが、筑波は雨でもグリップするので大丈夫だと思います」と横江の独走阻止を狙う。

予選は最初から雨の状況下で行われ、高橋巧が最初から積極的に攻めてリーダーボードのトップに躍り出た。一方で横江は中盤までセッティングの確認に専念していたが、終盤のアタックでは3周連続してベストラップを更新し、あっさりとポールポジションを奪取した。ラストアタックに失敗した高橋巧は2番手に留まり、及川誠人と小林龍太が終盤のアタックでフロントローの座を手にした。

決勝は雨天と見られているが、ここ筑波は全日本選手権が行われるサーキットの中でも特に路面のミュー(摩擦係数)が高く、かつコーナーにカント(傾き)が大きくつけられているなど、雨でも比較的滑りにくい。さらに筑波は直線が短く低速コーナーが多いレイアウトであり、独走逃げ切りは難しいと言われている。現時点で実力的に頭一つ抜け出している横江が逃げるのか、それともライバルたちが横江に待ったをかけるのか。このレースはシーズン前半戦の山場となるだろう。

[川岸 健二]

写真(上):横江竜司 (下):高橋巧

●MFJ SUPERBIKE EXpress執筆陣紹介●

- [青木 淳] 『ライディングスポーツ』編集長。1982年から全日本の取材をしている。自らもレース参戦しているが、目標の全日本参戦はまだまだ先のことになりそう。鈴鹿8耐参戦経験もある45歳。
[佐藤 寿宏] 名前に「寿」があるため業界でのニックネームが「ことぶき」というめでたいフリーライター。全日本ロードレースは1994年の最終戦以来、ほぼ全戦取材している。
[川岸 健二] ロードレース専門誌「サイクルサウンズ編集部」に籍を置き、全日本ロードレース取材は今年で7年目。「取材は足で稼ぐ」をモットーに、今日もムダ足を踏んでいる。

14歳の中上貴晶が、 全日本初ポールポジションを獲得!



GP125クラスの予選が始まる直前から空から雨がパラパラ降っていたが、最初の走行となるA組の走行では、まだ路面はドライだった。“ここしかない!”というタイミングでタイムアタックに入った中上貴晶が、ただ一人、1分01秒に入れる1分01秒006をマークしてポールポジション。直後に転倒を喫したものの、ケガはなく、レインコンディションとなった予選2回目でもトップタイムをマーク。すでに死角はない状態だ。

「メカさんが、うまくサスペンションセッティン

グを出してくれたので、いいタイムで走れている。アベレージもいいし、勝てるまで頑張る」と中上は自信のコメント。

ドライコンディションになれば、コースレコードを更新したいと意欲を見せる。それもそのはず、金曜日のA.R.T.走行では59秒633をマーク。非公式ながらコースレコードを更新しているからだ。

「決勝は晴れて欲しいですね。金曜日は非公式のタイムだったので、正式なコースレコードを出したいですからね。後ろを気にしないで一人でタイムを出していきたい」と、すでに一人旅を想定しているかのようなコメントだ。

この中上を止めたのがミニバイクからのライバル富沢祥也だ。富沢が走ったB組は、1回目の走行からウエットコンディションとなったが、富沢は2回のセッションをリード。開幕戦でトップ争いをしながら転倒に終わった雪辱を果たしたいだろう。

もちろん仲城英幸、井手敏男、葛原穂永、菊池寛幸、山本武宏などのベテラン勢もティーンズライダーにやられてばかりじゃいけない。筑波ならではのレースの駆け引きで若手を抑え込みたいところだ。ノリにノッている中上を止めることができるか!?

[佐藤 寿宏]

写真(上):中上貴晶 (下):富沢祥也

SUPERBIKE SUPPORTERS ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP



あなたの観戦スタイルにあった
4種類のパスで、
今年も国内最高峰の
ロードレースをお楽しみください。



詳しくは、
SUPERBIKE SUPPORTERS事務局
TEL : 0285-45-8465(AM11:00~PM7:00 月曜定休)
またはオフィシャルファンサイト superbike.jp まで

EVENT INFORMATION

ライダートークショー

注目のトップライダーだけが語れるレースのエピソード。そして、ここだけの話・マル秘情報など、ライダーの素顔に触れるHOTなイベントです。

- 場所:メインスタンド・最終コーナー側ステージカー
- 時間:1)11:35~12:00/JSB1000・GP250ライダー
2)16:00~16:30/レース優勝ライダー

09:00~09:45/14:35~15:05 キャンギャルオンステージ

レースクイーンが大集合!!色とりどりの素敵なコスチュームをまとった彼女たちの笑顔が間近で感じられるBigなシャッターチャンスです。

- 場所:メインスタンド・最終コーナー側ステージカー

パドックウォーク 13:00~13:35

筑波サーキットではパドックウォークを開催します。トップライダー達と間近で触れ合うことのできるビッグチャンスです。

- ※参加にはパドックパスが必要です。
- ※パドックパスの提示でどなたでも入場可能

レース終了後 サークットクルージング

全日本ロードレース恒例の2輪車(オートバイのみ)で来場の方ならどなたでも参加可能なサーキットクルージング(先導付き体験走行)。

- 時間:第1グループ/16:30~第2グループ/16:45~
- 参加料/保険料として¥1,000-
- 申し込み場所/第1コーナー手前左側・テント
- 申し込み時間/09:00~12:00(定員になり次第終了)

※イベント内容・出演ライダー等は変更、中止されることがあります。

GP-MONO ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP



今シーズンから全日本格式となったGP-MONO。4ストローク250cc単気筒エンジンをGP125クラスのフレームに搭載するという、ローコスト、イコールコンディションをコンセプトとした、入門者でも参加しやすく適度なパフォーマンスを持っているマシンによって争われる。雨の予選では、20分のセッション終盤に#51山下祐と#99の平石理がトップタイムを次々と塗り替えるアタック合戦を披露。結局、山下が開幕戦もてぎに続く2戦連続ポールポジションを獲得した。

写真:ポールポジションの山下祐

公式予選結果

●決勝スタート/09:55~(15周)

Pos	No	Name	Time	Team
1	51	山下 祐	1'10.393	ZBユビキツR・PLUSONE
2	99	平石 理	1'10.478	レーシングチーム ハニービー
3	7	斎藤 一輝	1'10.800	ケンツJKラストスズキ
4	3	赤間 清	1'10.931	CLUB HARC-PRO.
5	11	岡田 義治	1'11.208	MRF&RH松島
6	13	阿部 徹郎	1'11.247	あべさび・ヤマハ&セルコホーム
7	2	森 隆嘉	1'11.349	KRS&PLUS ONE
8	47	池田 宗敬	1'11.406	チームライディングスポーツ
9	49	松本 記一	1'11.464	team-KAZUMA
10	14	田中 敬秀	1'11.501	MRF&ブートレグブース
11	15	古川 真一	1'11.549	チームライディングスポーツ
12	65	繁野 明治*1	1'11.662	ホットバンクUSA& GET HOT
13	41	馬場 隆	1'11.713	パワーバイブレーシング&ケンツ
14	10	藤崎 直之	1'12.378	チームスガヤ・PILOTA
15	21	永田 正己	1'12.586	TWS&ZIPBIKE
16	50	吉島 正治	1'12.887	MRF&MPF&NPF&NTR
17	46	松永 直人	1'13.350	アイトンレーシングクラブ
18	26	榎原 徹	1'13.478	ZIPBIKE豊橋ユビキツR
19	85	長島 敦司	1'13.623	TEAM PILOTA
20	55	吉田 光弘	1'13.698	Team Life・ドリーム
21	56	松澤 雄太	1'13.849	ウルフマン&Tヨシハル&鉄馬
22	52	田中 信次	1'14.162	アイトンレーシングクラブ
23	36	織田 道武	1'14.717	パワーバイブレーシング
24	37	手塚 隆司	1'15.485	ウルフマン&Tヨシハル&鉄馬
25	9	高橋 哲也*2	1'15.813	ウイニングラン
26	45	土井 隆司	1'16.732	M・A・R-S
27	43	重野 治	1'16.735	NSBR 140・JBS
以上予選通過				
28	42	小沢 良美	1'17.742	バーニングブラッドRT
29	38	安川 澄江	1'23.716	MHマツモト&ビルドワークス

ミニバイクから世界GPまで
ロードレースのすべてがここにある

R/DING SPORT
毎月24日発売

2006年6月号<No.281>は好評発売中!

株式会社ニュース出版

CYCLE SOUNDS
EXCITING ROADSPORTS MAGAZINE

月刊サイクルサ운ズは
毎月24日発売

発行/株式会社ジック 発売/株式会社山海堂

2006 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 スーパーバイクレース in 筑波

GP125 Class Starting Grid

●予選日:天候/雨 路面/ウェット ●決勝コースイン/10:35 スタート/10:50(30周)

1	1	1'01.006	73	中上 貴晶	H-RS125R
	2	1'06.361	48	富沢 祥也	H-RS125R
2	3	1'02.087	92	葛原 稔永	H-RS125R
	4	1'06.703	3	井手 敏男	Y-TZ125
3	5	1'02.466	20	菅谷 慎一	H-RS125R
	6	1'06.820	53	木口 郁壘	H-RS125R
4	7	1'02.662	17	大石 義次	Y-TZ125
	8	1'07.084	5	竹内 吉弘	H-RS125R
5	9	1'02.867	7	山本 武宏	H-RS125R
	10	1'07.124	14	岩田 裕臣	H-RS125R
6	11	1'02.939	36	徳留 真紀	H-RS125R
	12	1'07.428	2	仲城 英幸	H-RS125R
7	13	1'03.025	1	菊池 寛幸	H-RS125R
	14	1'07.632	51	関野 洋樹	H-RS125R
8	15	1'03.143	30	小磯 栄	H-RS125R
	16	1'07.888	62	浅場 元昭	H-RS125R
9	17	1'03.672	61	笠井 悠太	Y-TZ125
	18	1'07.967	19	中村 貴紀	H-RS125R
10	19	1'03.922	8	山田 亮太	H-RS125R
	20	1'08.032	44	福嶋 雄介	H-RS125R
11	21	1'04.182	59	石川 学衛	H-RS125R
	22	1'08.212	15	花房 一樹	H-RS125R
12	23	1'04.215	25	山内 隆史	E-NER125
	24	1'08.391	90	矢作 雄馬	H-RS125R
13	25	1'04.252	38	天野 邦博	H-RS125R
	26	1'08.710	28	國吉 基寛	H-RS125R
14	27	1'04.392	12	井上 誠	H-RS125R
	28	1'08.821	37	長谷川 稔	H-RS125R
15	29	1'04.660	18	東 幸寛	H-RS125R
	30	1'09.038	58	Doni Tata Pradita	Y-TZ125
16	31	1'04.750	93	内田 修司	H-RS125R
	32	1'09.078	32	渡辺 一馬	H-RS125R
17	33	1'04.898	21	古市 石京	H-RS125R
	34	1'09.112	40	人見 研吾	H-RS125R
18	35	1'05.743	88	石本 大河	H-RS125R
	36	1'09.153	84	橋本 斉志	H-RS125R

2006 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 スーパーバイクレース in 筑波

ST600 Class Starting Grid

●予選日:天候/雨 路面/ウェット ●決勝コースイン/11:45 スタート/12:00(30周)

1	1	1'02.843	76	渡辺 篤	S-GSX-R600
	2	1'03.169	11	奥野 正雄	Y-YZF-R6
2	3	1'03.278	1	安田 毅史	H-CBR600RR
	4	1'03.518	10	鶴田 竜二	K-ZX-6RR
3	5	1'03.614	7	高橋 英倫	H-CBR600RR
	6	1'03.662	73	森 新	H-CBR600RR
4	7	1'03.688	9	大崎 誠之	Y-YZF-R6
	8	1'03.690	57	新垣 敏之	Y-YZF-R6
5	9	1'03.707	13	稲垣 誠	H-CBR600RR
	10	1'03.741	62	藤原 優彦	Y-YZF-R6
6	11	1'03.765	39	酒井 大作	K-ZX-6RR
	12	1'03.796	22	山本 琢磨	K-ZX-6RR
7	13	1'03.804	6	沼田 憲保	Y-YZF-R6
	14	1'03.938	70	中山 真太郎	H-CBR600RR
8	15	1'03.998	34	岩田 悟	H-CBR600RR
	16	1'04.076	26	石川 朋之	S-GSX-R600
9	17	1'04.114	16	生形 秀之	S-GSX-R600
	18	1'04.117	32	の場 浩晃	H-CBR600RR
10	19	1'04.141	23	藤下 和衛	H-CBR600RR
	20	1'04.147	3	辻村 猛	H-CBR600RR
11	21	1'04.252	5	寺本 幸司	S-GSX-R600
	22	1'04.257	46	原田 貴史	H-CBR600RR
12	23	1'04.262	36	清水 郁巳	H-CBR600RR
	24	1'04.354	31	児玉 勇太	H-CBR600RR
13	25	1'04.472	56	小室 旭	K-ZX-6RR
	26	1'04.473	40	津田 一磨	H-CBR600RR
14	27	1'04.504	27	奥田 貴哉	S-GSX-R600
	28	1'04.548	37	佐藤 裕児	Y-YZF-R6
15	29	1'04.561	90	大石 正彦	Y-YZF-R6
	30	1'04.640	53	須貝 義行	D-749R
16	31	1'04.654	30	津田 拓也	H-CBR600RR
	32	1'04.686	51	村田 丈	H-CBR600RR
17	33	1'04.723	54	井上 哲悟	K-ZX-6RR
	34	1'04.783	12	宮崎 敦	Y-YZF-R6
18	35	1'04.788	33	波多野 祐樹	S-GSX-R600
	36	1'04.882	18	東浦 正周	Y-YZF-R6

2006 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 スーパーバイクレース in 筑波

GP250 Class Starting Grid

●予選日:天候/雨 路面/ウェット ●決勝コースイン/13:45 スタート/14:00(30周)

1	1	1'02.019	2	横江 竜司	Y-TZ250
	2	1'03.194	72	高橋 巧	H-RBB250
2	3	1'03.416	4	及川 誠人	Y-TZ250
	4	1'03.989	66	小林 龍太	H-RBB250
3	5	1'04.031	55	高橋 江紀	H-RS250R
	6	1'04.238	41	宇井 陽一	Y-TZ250
4	7	1'04.337	7	R.WILAIROT	H-RS250R
	8	1'04.357	44	秋田 貴志	Y-TZ250
5	9	1'04.467	11	石井 春希	Y-TZ250
	10	1'04.958	6	秋谷 守	Y-TZ250
6	11	1'05.072	13	及川 玲	Y-TZ250
	12	1'05.112	12	櫻井 大幸	H-RS250R
7	13	1'05.124	38	濱本 裕基	Y-TZ250
	14	1'05.325	56	山崎 都	Y-TZ250
8	15	1'05.583	10	松井 剛	Y-TZ250
	16	1'05.638	15	豊田 浩史	Y-TZ250
9	17	1'05.864	51	泉本 真宏	Y-TZ250
	18	1'06.114	24	磯谷 晋一	Y-TZ250
10	19	1'06.223	34	二瓶 彰	Y-TZ250
	20	1'06.240	76	伊藤 勇樹	Y-TZ250
11	21	1'06.310	30	柴原 誠	Y-TZ250
	22	1'06.840	28	依田 幸久	Y-TZ250
12	23	1'07.553	19	岩井 耕治	Y-TZ250
	24	1'07.979	36	飯塚 弘樹	Y-TZ250
13	25	1'08.343	93	遠藤 卓実	Y-TZ250
	26	1'08.848	27	高田 明	Y-TZ250
14	27	1'08.880	16	藤田 浩司	Y-TZ250
	28	1'09.326	37	島村 英一郎	Y-TZ250
15	29	1'10.430	29	浅野 宏行	H-RS250R

2006 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 スーパーバイクレース in 筑波

JSB1000 Class Starting Grid

●予選日:天候/雨 路面/ウェット ●決勝コースイン/14:55 スタート/15:10(30周)

1	1	1'01.091	1	伊藤 真一	H-CBR1000RR
	2	1'01.118	11	秋吉 耕佑	S-GSX-R1000
2	3	1'01.413	76	渡辺 篤	S-GSX-R1000
	4	1'01.447	54	徳留 和樹	H-CBR1000RR
3	5	1'01.495	2	山口 辰也	H-CBR1000RR
	6	1'01.590	12	中須賀 克行	Y-YZF-R1
4	7	1'01.883	87	柳川 明	K-ZX-10R
	8	1'02.111	5	辻村 猛	H-CBR1000RR
5	9	1'02.209	10	小西 良輝	H-CBR1000RR
	10	1'02.339	55	出口 修	H-CBR1000RR
6	11	1'02.401	48	手島 雄介	H-CBR1000RR
	12	1'02.647	19	畠山 泰昌	H-CBR1000RR
7	13	1'02.970	13	須貝 義行	D-999R
	14	1'03.022	72	Alex Camier	H-CBR1000RR
8	15	1'03.107	26	山中 正之	H-CBR1000RR
	16	1'03.157	52	柚木 伸介	H-CBR1000RR
9	17	1'03.550	36	高橋 孝臣	H-CBR1000RR
	18	1'03.700	43	横張 好弘	Y-YZF-R1
10	19	1'03.975	9	亀谷 長純	H-CBR1000RR
	20	1'04.146	14	今野 由寛	S-GSX-R1000
11	21	1'04.205	31	森井 威綱	H-CBR1000RR
	22	1'04.225	15	川瀬 裕昌	S-GSX-R1000
12	23	1'04.288	33	高田 速人	H-CBR1000RR
	24	1'04.314	91	中山 智博	K-ZX-10R
13	25	1'04.412	41	野寄 真二	H-CBR1000RR
	26	1'04.504	29	劉田 庄平	K-ZX-10R
14	27	1'04.580	58	鍋城 正八	H-CBR1000RR
	28	1'04.643	99	下地 申悟	H-CBR1000RR
15	29	1'05.285	40	小林 哲朗	S-GSX-R1000
	30	1'05.342	45	永坂 幸一	H-CBR1000RR
16	31	1'05.559	49	鳴海 英章	S-GSX-R1000
	32	1'05.718	44	五十嵐 明弘	H-CBR1000RR
17	33	1'05.936	37	掛川 啓一	H-CBR1000RR
	34	1'06.191	38	原田 洋孝	K-ZX-10R
18	35	1'06.659	64	川上 智彦	H-CBR1000RR
	36	1'06.925	39	高原 昌幸	Y-YZF-R1